

コロナ禍における大学生の就職状況と、 今後の変化も踏まえた進路支援を考える

令和3年3月卒業生の本学の就職内定率は、新型コロナウイルス感染症拡大による社会経済状況の影響などを受け、一部の学部を除き前年度より就職内定率が低下し、直近5年間で見ても低い水準となっています。全国的にも就職内定率の要因分析等が各所で行われ、報告されています。既に本格化している今年度の就職支援を適切に行うため、これまで以上に学生の就職活動や就職内定状況、企業等の採用活動などを丁寧に整理し、実態を教員及び職員が理解・共有していく必要があります。

今回のセミナーでは、就職状況の全国的な傾向や企業等を取り巻く現状、今後の就職支援で重視・考慮すべき事項等、各種データに基づいた様々な傾向を専門家からご講話いただくとともに、本県及び本学の就職活動等の現状について報告し、今後の本学学生への就職支援につなげていくことを目的とします。



【第1部：基調講演】

株式会社リクルート 就職みらい研究所

所長 **増本 全 氏**

【第2部：報告】

高等教育推進センター 准教授 高瀬 和実

【日時】

令和3年6月30日（水）

14時40分～16時10分

【会場】

滝沢キャンパス：共通講義棟101講義室

宮古キャンパス：管理研究棟大会議室

（遠隔会議システムによる配信）

1980年神奈川県生まれ。2004年学習院大学経済学部を卒業後、(株)リクルートに入社。これまで主に新卒採用領域において営業/企画/スタッフ職に従事。2014年よりリクナビ副編集長として、全国の大学生・大学教職員向けにこれまで300回を超える講演・セミナー等のキャリア・就職支援を行う。2018年4月就職みらい研究所に着任し、同年10月より現職。採用・就職に関するリサーチ活動を行いながら、行政・経済団体の就職に関する会合に有識者として委員参加。各種メディアにも多数出演。